

幸福実現NEWS

THE HAPPINESS REALIZATION NEWS

● [党員限定版] 第65号

今、政治に必要なのは、 善悪の価値判断と行動力！

積量子党首インタビュー 政治的正しさを語る

昨今、いわゆる「イスラム国」による人質問題など、テロの脅威に揺れる国際社会。政治的正義とは何か——。さらに2月11日の建国記念の日に発刊する『太陽の昇る国』について、党首の現在の思いを聞いた。



——「イスラム国」による日本人質事件など 昨今の情勢をどう見るか？

現在、海外にいる日本人の数は約126万人です。危険地帯へ「自己責任」で赴いたケースだけでなく、民間企業の関係者やその家族が、同様の事件に巻き込まれる危険性は年々増えています。

2013年、邦人10名が殺害されたアルジェリア人質事件同様、在外日本人がテロ組織に拘束されたとしても、自衛隊が救出に行くことができない現状は残念でなりません。

テロ組織拡大には、強かったアメリカが正義や誇りを失い、「世界の警察」の地位を自ら捨てたことが背景にあります。国際秩序が揺れる中、日本も対米追従一辺倒の外交・安全保障のあり方を見直し、自らを守り抜くための手立てを考える必要があります。

——日本政府の対応については？

今回の安倍首相の対応は、国際社会では通じない「日本だけに通じる常識」を痛感させるものでした。安倍首相は、外遊先のイスラエルの会見で、「身代金を払う考えがあるのか」という外国人記者の質問に、「人命第一に全力を尽くす」と同時に、「テロに屈しない」と矛盾した発言をしました。他方、「イスラム国」に対しては何をするかは明言はしませんでした。

仮に人命尊重のため身代金を払うとどうなるか。それは目的のために手段を選ばないテロリストと同じ土俵に立たされるということなのです。「イスラム国」は宗教的背景や抑圧された歴史に基づき、彼らなりの大義を掲げているのかもしれませんが。しかし現状においては、国際秩序に対する脅威に他なりません。その要求に屈することは、間接的にテロに加

担し、結果、その拡大につながるという悪循環を生むのです。

政治的にも経済的にも責任ある日本が、善悪の価値判断から逃げるあいまいな姿勢は、もはや国際社会にとっては理解しがたい態度です。他国からの侮りを受けることにもなりかねません。

——国際社会の正しさの基準の見極め方は？

目的と手段を履き違えたテロ組織が広がり究極までいったらどうなるか。人類にとって幸福かどうかを考えれば、正しさの価値判断はつきます。テロの要求に従うことは、国際秩序を揺るがす悪の容認に他なりません。

邦人の人質や殺害はわが国に対する実質的な「宣戦布告」に等しく、「日本の正しさ」を世界に発信できるか否かが問われています。世界中が「日本の正義はいかに」を注視しているといっても過言ではありません。

——日本政府はどのような政治判断すべきか？

世界から信頼されるには、言葉と態度を一致させることです。理想を言えば「テロに屈することはない」と世界に発信しつつ、政治的責任と判断で粛々と邦人救出のため尽力することです。あらゆる可能性を検討した結果、やむを得ない場合は超法規的措置で特殊部隊を派遣し人質の救出するくらいの気概があってこそ、世界から信頼される国家ではないでしょうか。それでこそ、真の人命尊重と考えます。曖昧模糊とした発言は、日本人からも世界のどの国からも信頼も失います。

今後、同様の事件を防ぐためにも、国家・国民を守り抜く姿勢を鮮明にするとともに、地域の安全を確保し得るための体制の構築を急ぐべきと考えています。自衛隊による邦人救出が実行できるよう、実効ある法整備を強

く要望致します。当然ながら、国防の手足を縛る憲法9条の改正も急がねばなりません。

——新刊『太陽の昇る国』のタイトルに込めた 思いは？

『太陽の昇る国』というと、日の丸や天照大神といった日本古来のイメージを思い浮かべる方が多いでしょう。しかし、幸福実現党の党首として、「太陽が昇る」ということはどのような時代かを一言で表すとすれば、マルクスの『共産党宣言』を葬り去った世界の実現ということです。つまり、『幸福実現党宣言』に盛られた精神が国是となり、世界のリーダー国家となる日本を描いたものなのです。

本著は幸福実現党の目指す日本の姿を、各界の9人の方の対談を通じて、「新生・日本」を浮かび上がらせました。

建国記念の日に加え、戦後70年の今年。誰もが国に思いをはせる時期です。私は、日本のドラマはこれからだと確信しています。歴史認識の問題や憲法改正など、山積する課題を乗り越えることができた時、日本は「坂の上の雲」を越え、ライジング・サンを実現することができるはずです。

——党員の皆様へメッセージを

党員の皆様の温かいご支援、心より感謝申し上げます。私たちの活動の一つ一つが日本の誇りを取り戻し、子供たちの未来を守り、「正しさ」を具体化していきます。

私たちは日本のみならず、国際社会における「正しさ」を発信し続けます。国際社会の真なる平和と繁栄を目指して—これからも党員の皆様と心をつなげて、力強く活動を展開して参りたいと思います。どうぞ引き続き、ご支援ご協力、よろしくお願い致します。

党首新刊のご案内 詳しくは4面に



全米20局ラジオ番組で放送中！

幸福実現党外務局長 及川幸久



大川隆法著
英語版『国際政治を見る眼』
INTO THE STORM OF
INTERNATIONAL POLITICS

IRH Press Co., Ltd.
1,500 円

現在、幸福実現党は、「日本の誇りを取り戻す」キャンペーンとして、南京大虐殺と従軍慰安婦の嘘によって日本が国際社会の中で貶められている現状を変革しようとしています。

私は、幸福の科学出版アメリカ現地法人が発刊した英語版『アイリス・チャンの霊言』『国際政治を見る眼』（共に大川隆法著）を使って、全米 20 局のラジオ番組に出演し、歴史の真実をアメリカ国民に直接訴えています。

中国、韓国の反日プロパガンダに対して、事実を正確に、英語で、繰り返し伝えることが、私たちの戦略です。

とくに、「イスラム国」による日本人質事件によって、日本の見方が問われました。オバマ大統領によってアメリカが「世界の警

察」の役割をやめたことによって、国際社会は無法地帯となり、「イスラム国」が現れる大きな要因となりました。この認識が現在の国際政治の混乱を解決する重要な鍵です。

「誇りを失った国家は滅びる」。これは歴史の法則です。戦後 70 年、日本もアメリカも、自国の誇りと使命を取り戻すように、私たちは声を上げ続けます。



1960年、神奈川県生まれ。上智大学文学部新聞学科卒業。国際基督教大学大学院行政学研究科修士課程修了。米国メリルリンチ社、英国インベスコ・アセットマネジメント勤務を経て、94年、宗教法人幸福の科学に入局。専務理事などを歴任。



国際政治コメンテータとして CBS 系ラジオ番組出演。

私たちの活動が日本の誇りを取り戻す力になります！



「中国によるユネスコ記憶遺産への申請抗議署名」の締切迫る！

幸福実現党では昨年 7 月より、中国政府による南京事件と慰安婦問題に関する資料のユネスコ記憶遺産への登録申請に抗議する署名活動を展開しています。

署名用紙は党公式ホームページからダウンロードできます。署名は党本部にて取りまとめ、内閣府を通じて内閣総理大臣宛てに要請を行う予定です。署名用紙は下記の締切日必着で党本部に送付ください。

【署名送付先】
幸福実現党本部
〒107-0052 東京都港区赤坂2-10-8
電話 03-6441-0754

【最終締切】
3月24日(火) 必着

幸福実現党

検索



子供たちに間違った歴史を学ばせることが辛く、何とかしなければと思い、近所を回ったり、商売をしているので（たい焼き、たこ焼き屋さん）お客様に声をかけています。たくさんの署名いただきました！鳥取は日本の中でも近いので中国の植民地にはなりたくないという危機感もあります。（Iさん 女性 鳥取県鳥取市）

政党の講演会で署名についてPRすると、一般の女性が感銘を受け、50名程に声をかけてくれました。（Iさん 女性 愛知県西尾市）

近隣の神社を一日かけて10箇所くらい回りました。全部署名OKで好印象でした。（霊言を見て）「大川さんてどなたでも呼べるんですね。すごいですね！」と好印象でした！その後、政党支援の依頼もしてきました。（Nさん 女性 東京都新宿区）

署名の活動のイイシラセ続々！

「声を発することは大事。何もしなければ（ユネスコ世界記憶遺産）に通ってしまうのです。それは日本が、ずっと弱い立場になり、永遠に中国や韓国にお金を払い続けなくてはいけなくなるんですよ」というと、皆さんの顔色が変わります。（Aさん 女性 岡山県津山市）

「他の政党は選挙の前だけけど、お宅は選挙に関係なく熱心に政治活動をしているな。いいことしているね」（一般男性 愛知県西尾市）

